

# しらす情報 第3号

令和元年 7月5日  
静岡県水産技術研究所資源海洋科

## 7、8月シラス水揚量予測

今年の5、6月のカタクチイワシ卵平均採集数は0.1個/m<sup>3</sup>であったため、7、8月の水揚量は低調になることが予測されます

### 解説

5、6月の静岡県海域（図1）におけるカタクチイワシ卵の全測点平均採集数\*と7、8月の主要6港（用宗、吉田、御前崎、福田、舞阪、新居）シラス水揚量との間には、以下のような関係性があります。

- ① 5、6月のカタクチイワシ卵の平均採集数が多い年は、7、8月のシラス水揚量は663～3,955トンと幅がある。
- ② 平均採集数が少ない年は、137～1,128トンと水揚量は少ない。

これは、卵が多い場合は、海況等の影響により水揚量が左右される一方、卵が少ない場合は、海況等条件に関わらず、水揚げは増えないためと考えられます。

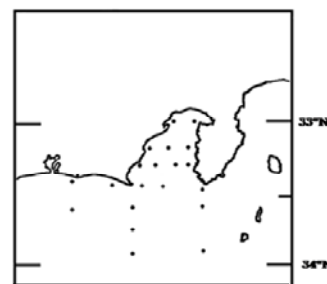


図1 カタクチイワシ卵採集測点

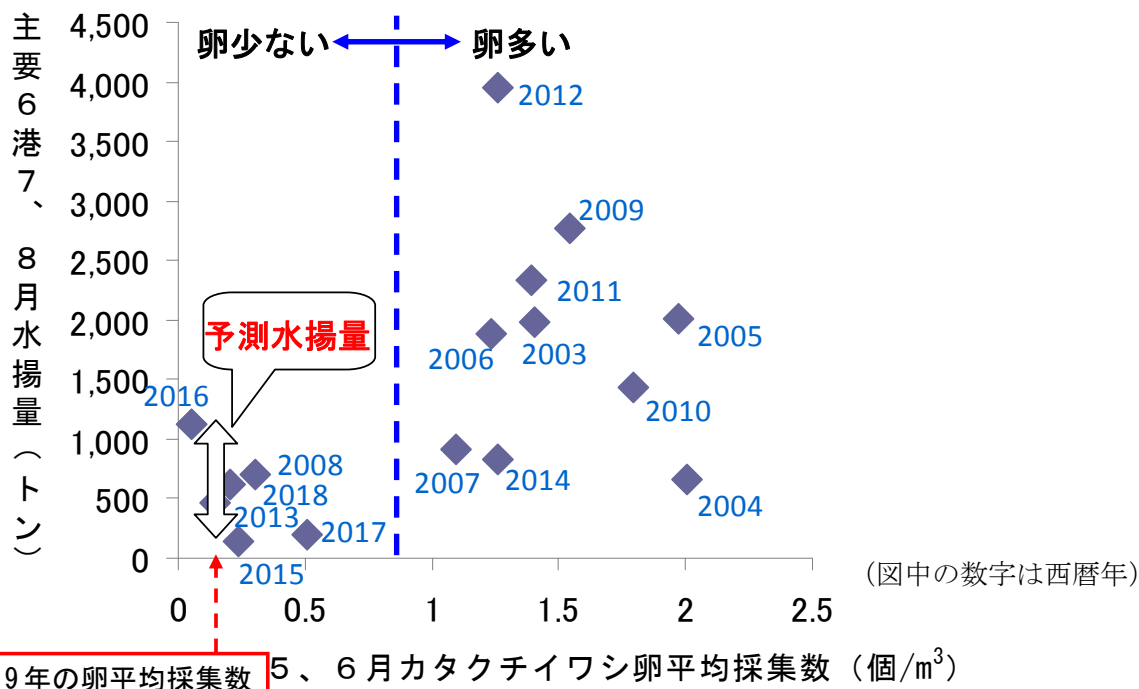


図2 5、6月カタクチイワシ卵平均採集数と7、8月主要6港シラス水揚量の相関

\* 調査船「駿河丸」にてプラントンネット（目合 335μm）の鉛直曳きで採集を行いました